



Yonago Gaina Daiko

50th

Anniversary

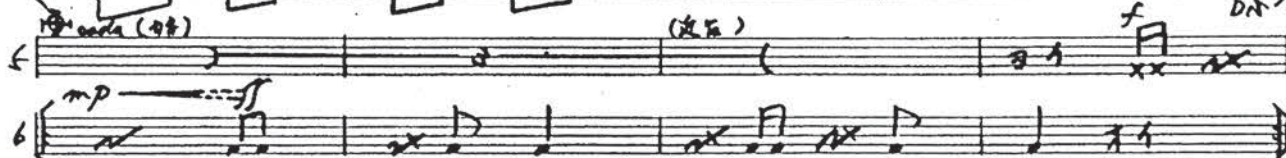
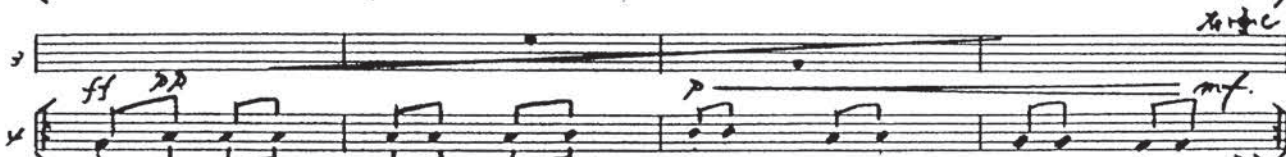
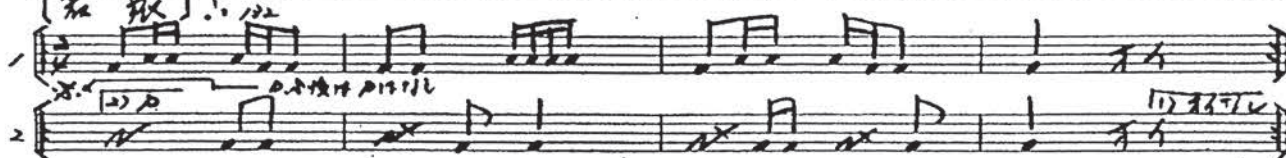
A 太鼓ハーン

米子かゝり太鼓

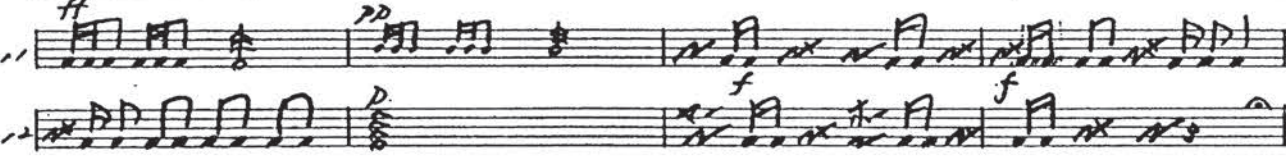
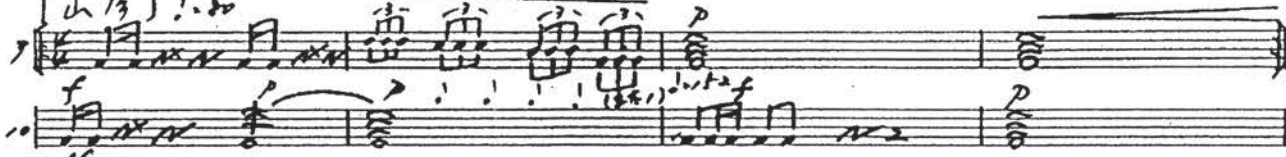
[嘆息] Andante



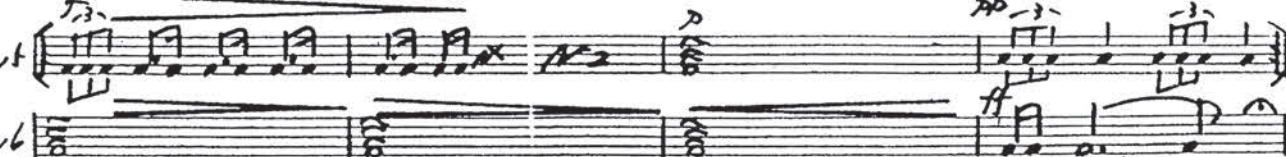
[鼓 歌] 1. 122



[山 歌] 1. 122

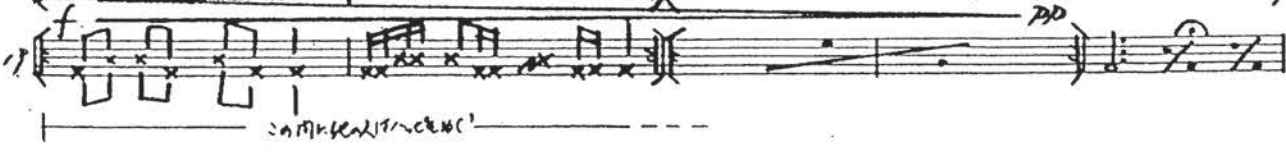


[荒 波] 1. 122



7/8 拍子 (A.B.C.D.H.I.C.C.C.C.C.C.)

[建設の樂] Allegro



Handwritten musical score for "The Song of the Lark" (《小鸟的歌》). The score is written on 18 staves, numbered 20 to 37. It features various musical notations including notes, rests, and dynamic markings such as "pp", "mp", "f", and "ff". There are also performance instructions in Chinese, including "加速" (Accelerando) and "渐慢" (Ritardando). The score is a single system, likely for a piano or similar instrument.



Yonago Gaina Daiko

50th

Anniversary

目次

Contents

3
／ 会長挨拶

4
／ 米子市長挨拶

第1章 50年のあゆみ

6
／ 創始者の言葉

7
／ 宗家の言葉

8
／ 誕生ヒストリー

10
／ がいな太鼓のあゆみ
1975~1994

12
／ がいな太鼓のあゆみ
1995~2014

14
／ がいな太鼓のあゆみ
2015~2024

16
／ 座談会 ベテラン編

21
／ 座談会 OB・OG編

第2章 50年 そしてこれから

26
／ 創立50周年記念式典・祝賀会

28
／ 50周年記念コンサート

30
／ 座談会 若手編

第3章 チーム紹介

35
／ 匠

36
／ 極

38
／ 若連

40
／ 錦聚連

42
／ 酸友連

44
／ 陸自連

45
／ 若獅子

46
／ 若あゆ連

48
／ 颯連

50
／ 就将子供連

52
／ 福米東子供連

54
／ 啓成子供連

56
／ 尚徳子供連

58
／ 響子供連

第4章 レポートリー 曲紹介

61
／ 大人連

65
／ 子供連

第5章 組織編

68
／ 保存会 役員

69
／ 保存会 会員

70
／ 委員会

第6章 資料編

72
／ 歴代会長・役員
創設メンバー

74
／ 受賞歴
助成金・補助金拝受歴
義援金贈呈歴

75
／ 歴代チーム

76
／ 歴代コーチ
リーダー・団長

78
／ 曲のレポートリー

80
／ 編集後記



百花繚乱・鼓風舞心

「百花繚乱・鼓風舞心」、清楚なヒナゲシが豪華なバラをうらやむことなく、艶やかなボタンがひっそりと咲く都忘れをさげすむこともない。それぞれがその良さを最高に発揮して咲き誇っている。それらの香りを包んでそよ風は無心に心を舞わせてくれる、酔わせてくれる。創立50周年を迎えた米子がいな太鼓の姿でもあります。

昭和50年、第2回米子がいな祭にデビューした米子がいな太鼓は「鼓動心響」を心に、米子の人々にとすれば忘れがちな米子魂を奮い起こさせるべく、力強い響きをお届けしてまいりました。「大海の磯もとどろに寄する波、割れて砕けて裂けて散るかも」の如く、ひたすら力強く潔く米子に元気をと、ストーリーを語りそのエネルギーをお届けしてまいりました。

いま50年という節目を迎え、米子がいな太鼓はその力強さ勇壮さのみならず、あでやかさ、優しさ、ほんのりとした香りを加味した成熟した太鼓に成長しつつあります。この度、記念すべき50周年の米子がいな太鼓は「米子市認定伝統芸能」の栄誉を授けられました。一同、大きな喜びと深い自覚を新たに、より一層気を引き締めて精進してまいります。

「伝統」とは単なる歴史や記録ではなく、歴史に裏付けられたあくまでも現在の姿であると考えております。それも何も変えることなくひたすら守り続けるのではなく、必要な変化を取り入れ時代と共に成長していくものだと思っております。「年年歳歳花相似たり、歳歳年年人同じからず」で、同じ太鼓演奏も曲の魂は変わらずともメンバーは年々替わってきました。50年という歳月は世の中も人も容赦なく変えてきました。私たちが幸いにもこうして50周年を祝うことができるのも、設立から今日までその時々に関わってこられた人々、支えてこられた人々、市民のみなさま、すべての人々のお蔭であります。心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。これからも、時代は変われど人も替われど、熱き米子っ子の心、わが愛する米子の確かな鼓動として、米子がいな太鼓は「力強く、あでやかに」この地に響き続けてまいります。



米子がいな太鼓保存会 会長

— 金山 博真



ごあいさつ



米子がいな太鼓保存会創立50周年記念誌の発刊を心より
お祝い申し上げます。

米子がいな太鼓保存会は昭和49年に創立され、その翌年の
第2回米子がいな祭で鮮烈なデビューを飾られました。以来、
今日に至るまで、米子がいな祭をはじめとする地域の祭りや行
事に加え、県内外、さらには海外でのイベントにも参加され、そ
の力強い音とリズムで多くの人々に感動を与えてられました。
保存会の皆様におかれては、半世紀もの長きにわたり、たゆま
ぬ努力と情熱により、唯一無二の演奏を磨き上げ、確たる伝統
を築いてられました。

「米子がいな太鼓」が多くの市民に愛され、米子になくはな
らない郷土芸能として定着いたしましたのも、保存会の皆様
のご尽力の賜物と深く敬意を表しますとともに、本市の文化振興
に多大なご貢献をいただいておりますことに心より感謝を申し
上げます。

昨年、本市では、地域で取り組まれている芸能活動の一層の
発展のため、伝統芸能の認定制度を創設いたしました。そし
て、保存会の皆様の活動が、地域全体を活気づけるだけでな
く、後進の育成活動への注力など、次世代への文化の継承と
いった点からも大変優れた取組であることから、「米子がいな
太鼓」を未来に残すべき「米子市認定伝統芸能」として認定い
たしました。今まさに、がいな太鼓の演奏に取り組む多くの若
き担い手の皆様の姿が見られ、楽しみが尽きないところであり
ます。これから先も、精力的に活動され、素晴らしい伝統が後
世へ受け継がれていくことを期待しております。

結びに、米子がいな太鼓保存会の益々のご発展と、関係者の
皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、お祝いの言葉といた
します。

米子市長

— 伊木 隆司